

8月報道資料

八千代市

<p>1. 件名</p> <p>令和4年度八千代平和事業 映画「対馬丸ーさようなら沖縄ー」を上映します</p>
<p>2. 内容（目的，日時，場所，特徴等）</p> <p>(1) 概要 昭和62年に「平和都市宣言」をした本市では，八千代平和事業市民実行委員会との共催で「八千代平和事業」を実施しています。 今年度は，映画「対馬丸ーさようなら沖縄ー」の上映を行います。</p> <p>(2) 日時 令和4年8月28日（日）①上映：午前11時（開場：午前10時30分） ②上映：午後2時（開場：午後1時30分）</p> <p>(3) 内容 いまだに海の底で眠る「対馬丸」。親子三世代に伝えたい，沖縄の事実が詰まったドキュメンタリーアニメーション映画です。 なお，映画の上映以外にも，沖縄琉球舞踊研究所「でいごの会」がゲスト出演し，沖縄県を継承する琉球舞踊を披露します。</p> <p>(4) 場所 勝田台文化センターホール</p> <p>(5) 入場料 全席自由 ・一般：800円（当日1,000円） ・18歳以下，障がい者：600円</p> <p>(6) チケット販売場所 八千代市市民会館，八千代台文化センター，勝田台文化センター， 八千代市地域振興財団チケットサービス</p>
<p>3. 添付資料</p> <p>令和4年度八千代平和事業チラシ</p>
<p>4. 主催・共催者名</p> <p>主催：八千代市，八千代平和事業市民実行委員会 後援：東葉高速鉄道株式会社 主管：（公財）八千代市地域振興財団</p>
<p>5. 問い合わせ先（住所，電話，担当課等）</p> <p>八千代市企画部シティプロモーション課 電話：047-421-6703 （公財）八千代市地域振興財団 電話：047-483-5111</p>

主催／八千代市、八千代平和事業市民実行委員会
主管／公益財団法人八千代市地域振興財団
後援／東葉高速鉄道株式会社

令和4年度 八千代平和事業

つしままる

1982年製作
上映時間 70分

映画

対馬丸

- さようなら沖縄 -

いまこそ親子三代に伝えたい、沖縄の事実!!
ドキュメンタリーアニメーション



制作 対馬丸制作委員会

配給会社 アジア・ワイド・コミュニケーションズ

監督 小林治 脚本 大久保昌一郎 千野皓司

本公演は、政府および自治体のガイドラインに従い、新型コロナウイルス感染予防と拡大防止対策を講じ開催いたします。

ご来場の前に予防対策など最新情報を、八千代市地域振興財団ホームページ(<https://ycp.or.jp/>)にてご確認ください。

2022 8 / 28 日

①11:00開演 (10:30開場)

②14:00開演 (13:30開場)

※感染症防止のために開場時間が早まる場合もあります。

勝田台文化センターホール

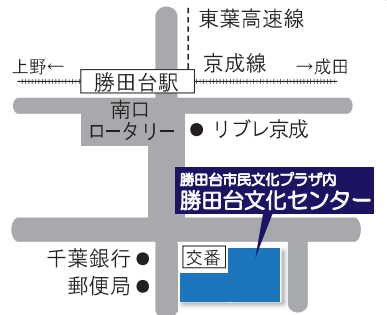
東葉高速線・京成線 勝田台駅 南口から徒歩5分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用の上ご来場ください

全席自由 800 円(当日 1,000 円)

賛助会員、18歳以下、障がい者 600 円

ゲスト出演
沖縄琉球舞踊研究所
でいこの会



八千代市地域振興財団チケットサービス

<https://www.cnplayguide.com/ycp/>

八千代市市民会館

☎047-483-5111

八千代台文化センター

☎047-482-1833

勝田台文化センター

☎047-483-2141

つしまる 対馬丸 さようなら沖繩

【カラー・75分】



1 13版 1997年3月17日(第3種郵便物認可) 毎月

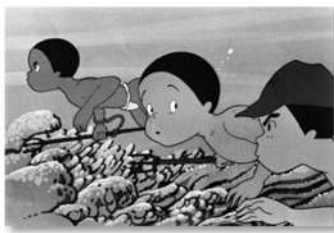
水深870m 対馬丸は眠る

無人探査機で船体を確認

海洋調査船「セウメイ」は、鹿児島県トカラ列島の北西約100kmの海域で、1944年8月に米潜水艦に撃沈された学童疎送船「対馬丸」を発見した。無人探査機「アビロン」のビデオカメラが、黒い船体に「対馬丸」の文字を写した。船体の目撃は、57年ぶりに「対馬丸」の存在を確認した。東京海上保安庁が、無人探査機「アビロン」で、沈没した「対馬丸」の船体を確認した。船体の目撃は、57年ぶりに「対馬丸」の存在を確認した。東京海上保安庁が、無人探査機「アビロン」で、沈没した「対馬丸」の船体を確認した。

1944年8月、攻撃受け沈没
沖繩の児童ら1484人犠牲

1997年12月13日全国各紙に報道



《対馬丸とは》 1944年7月、沖繩は続々と兵隊が送り込まれ戦火が身近にせまっていた。この映画で描く『対馬丸事件』は、そういった緊迫した中、8月22日夜10時12分、沖繩から九州に向かう学童疎開船の一隻が米潜水艦の魚雷をうけ、鹿児島南方海上で沈没した。

船には学童を含む1,661人が乗っていたが、そのほとんどの命が暗く冷たい波間に消えていった。生存者は、157人。その内、子供たちはわずか59人。対馬丸の遭難は、国策の名のもとに、国や軍の都合だけで何も知らない幼い学童たちが死んでいったところに大きな悲劇がある。そして、無惨にもこの事件が、多くの県民を巻き込んだ沖繩戦の序曲となった。

ゲスト出演 琉球舞踊研究所でいごの会

沖繩舞踊研究所でいごの会
(代表 知念常子)

平成9年 沖繩タイムス芸術選賞伝統芸能部門(新人賞入賞)

平成16年 沖繩タイムス芸術選賞伝統芸能部門(優秀賞入賞)

平成18年 埼玉県朝霞市で「でいごの会」を立ち上げる

平成20年 琉球協会主催 国立劇場出演

平成22年 千葉市教育会館に出演

その他高校生団体の事前学習公演、介護施設などのボランティア活動



8月28日演目 ①四ツ竹(よつだけ) ②貫花(ぬちばな) ③谷茶前(たんちゃめー) 20分



八千代平和事業

昭和62年、平和希求のもと「平和都市宣言」をした八千代市では、平和であることの尊さを永遠に伝えていくため、市民等で構成された「八千代平和事業市民実行委員会」とともに、平和への取り組みを行っています。

◀ 平和祈念碑(昭和61年八千代市市民会館前に建立)